



同窓生の皆さま、お元氣でお過ごしでしょうか。日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

ここ数年はコロナ禍にあつて思うように活動できない日々が続きましたが、少しずつ日常をとり戻しながら、昨年六月には五年ぶりに常任幹事、幹事会を開催し「母校創立百周年」のご慶事に向けて話し合うことができました。皆さまから貴重なご意見を頂戴し、それを踏まえて役員一同準備を進めて参りました。

いよいよ当日、母校体育館での記念式典では、大雨と雷鳴が轟く中、大泉潤函館市長をはじめ、ご来賓の皆さまに温かいご祝辞をいただき感謝の中で式典を終えることができました。祝賀会の会場に向かう頃には



同窓会会長
平田 優子
S 55年卒業(旧姓若山)



**創立100周年
記念号
第 47 号**

《発行》
函館大妻高等学校
同 窓 会
「いとぐるま」編集部
〒040-0002
函館市柳町14番23号
電話 (0138) 52-1890
FAX (0138) 52-1892
印刷 (有)三和印刷

雨もあがり、晴れやかな笑顔の同窓生が久しぶりの再会に声を弾ませ、会場中が和やかな祝福ムード一色に染まりました。祝宴に先立ち、同窓生の皆さまから毎年毎年寄せられた母校を思うご厚志、一千万円の寄付金の目録を池田理事長・学校長にお渡しすることができ、ホッと胸をなで下ろし自分の席に着く事ができました。

同窓会としても、同窓生の心の拠り所である母校の節目の一大行事に少しでも花を添えたいと思い、母校の新旧校舎や外山ハツ初代校長先生の日本刺繍の作品、そして創立の原点である校歌を載せたクリアファイルと、糸車の校章、校訓「恥を知れ」を刻んだ根付けを記念品として作成し、祝賀会にご出席くださった皆さまにお渡しいたしました。

忙しい校務の傍ら準備され、記念式典・祝賀会を盛会裏に終えられ休む間もなく次の一步を踏み出された教職員の皆さまのご尽力に感謝申し上げますとともに、これからの新たな歴史に向かって一層のご活躍をお祈りいたします。

今年には五年ぶりに同窓会総会・親睦会の開催を予定しております。長年慣れ親しんだ「花びしホテル」から「KKRはこだて」に場所を移し、時間もお昼の十二時から変わっております。母校百周年に続き、七月の同窓会で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。どうぞお誘いあわせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

同窓会としても、同窓生の心の拠り所である母校の節目の一大行事に少しでも花を添えたいと思い、母校の新旧校舎や外山ハツ初代校長先生の日本刺繍の作品、そして創立の原点である校歌を載せたクリアファイルと、糸車の校章、校訓「恥を知れ」を刻んだ根付けを記念品として作成し、祝賀会にご出席くださった皆さまにお渡しいたしました。

忙しい校務の傍ら準備され、記念式典・祝賀会を盛会裏に終えられ休む間もなく次の一步を踏み出された教職員の皆さまのご尽力に感謝申し上げますとともに、これからの新たな歴史に向かって一層のご活躍をお祈りいたします。

今年には五年ぶりに同窓会総会・親睦会の開催を予定しております。長年慣れ親しんだ「花びしホテル」から「KKRはこだて」に場所を移し、時間もお昼の十二時から変わっております。母校百周年に続き、七月の同窓会で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。どうぞお誘いあわせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。



百周年、ありがとうございました!!

函館大妻高等学校
校長 池田 延己

コロナ第十波に突入、インフルエ
ンザ流行などと報道されているなか
同窓生の皆さまにはお健やかに経過
ごしのことと思います。

令和五年十月五日に開催しました
「函館大妻高等学校創立百周年記念
式典・祝賀会」に、ご多忙の中ご出
席いただき誠に有難うございました。
月日が経つのは早いもので五ヵ月経
過しました。同窓生皆さまのご協力
で盛会裏に終了できましたことに、
改めてお礼を申し上げます。今回は、
所用で出席が叶わなかった方々のた
めに当日の様子を振り返ってみたい
と思います。また、出席された方々
も当日の様子を思い出していただ
ければ幸いです。

記念式典は、約五五〇名と予想さ
れる来校者と在校生を体育館に収容
できないと考え、二日日程で実施し
ました。十月四日は教職員と在校生
のみの式典。内容は校長「式辞」と
生徒会長小林千祥さんの「喜びのこ
とば」、「百年の軌跡」と題したスラ
イドショーです。

十月五日、本番当日はあいにくの
雨でしたが、式典は二部構成で実施
しました。一部では日本最古の西川
ピアノを、国内外で活躍中のピアノ

スト高実希子さんの演奏をバックに
「大妻百年の軌跡」と題したスライ
ドショーを展開。終了後にラ・カン
パネラを熱演。神田先生がピアノに
向かい、横に立つハツ校長先生。裏
に大正十四年と書かれた写真が現存
します。まさに大妻百年の歴史の証
人であるピアノが当時の音色を響か
せ、会場を感動の渦に巻き込んでい
ました。

次が今年の大妻祭フアツシヨ
ンショー上位六人による演技。家政科
でも普通科でも縫い物が当たり前
だった当時と違い、今は家政科以外
針を持つことはありません。しかし、
昔の着物ショーに起源を持つ伝統の
フアツシヨンショー。遅くまで残っ
て縫い上げた衣装による競合を勝ち
抜いた上位六人の演技は、見る人を
引き付けていました。綴帳が下ろさ
れ、ステージ下では地区大会C編成
で金賞を獲得し、全道大会出場の常
連となった吹奏楽部による「さくら
のうた」の演奏。その頃ステージ上
では、模様替えが誰にも気づかれず
に静かに進行中。

そして、綴帳があがり二部が開始
二部の最初は校長式辞ですが、式辞
の途中でどこかに落ちたような大き

な音が二度。ハツ校長先生が「頑張
れ!!」「しっかりやれ!!」と、天か
ら叱咤激励していると解釈して平然
と続けさせてもらいました。祝辞は
大妻女子大学理事長・学長伊藤正直
先生、北海道知事、函館市長、PT
A会長の四名の方にお願いました。

伊藤先生は、大妻学院の校訓「恥を
知れ」を取り上げ、「函館大妻が大
妻コタカバの精神をもっとも正統に継
承した」ことや、若くして先生になっ
た外山ハツが学生から、「お姉さま
先生」と呼ばれ親しまれていたエビ
ソードを紹介。生徒会長の小林千祥
さんは、「伝統を受け継ぎつつ、温
かみのある学校の雰囲気づくりを大
切にしていきたい」と、よく通る澄
んだ声で「創立百周年、感謝と重み」
と題して喜びのことばを述べました。
式典最中は雷を伴うほどの本降り
だった雨も、式典前後の移動時には
止み、これもハツ校長先生のご威光
かと天を仰ぎ感謝してしまいました。

記念祝賀会は函館国際ホテルに会
場を移して開催されました。祝辞
は、東京と函館の同窓会長さんお二
方。大妻女子大学の井上会長は、「ハ
ツ校長先生が、娘さんたちが職業的
に独立して社会と家庭に奉仕できる
ように指導したい」という、強い意
志を持って大妻に入学したことや、
昭和四十五年の大妻コタカバ先生逝去
の際の追悼文を紹介し、強いきずな
で結ばれた師弟関係だったことを話
されておりました。また、本校同窓

会の平田優子会長は、母校を訪れる
たびに知・技・徳の建学の精神「良
妻賢母」、校訓「恥を知れ」、不撓不
屈の「大妻魂」が、現在も活き活き
と根付いていることを実感し心強く
思っていますと話され、勇気をいた
だきました。

そして、西野鷹志前理事長の乾杯
発声後、祝宴は和気あいあい、久し
ぶりに会ったお姉さまたちも十八歳
に立ち返って会話を弾み、テーブル
スピーチにはあちらこちらでうな
ずく姿も見られました。東京、愛
知、埼玉、千葉など、道外からもた
くさん駆け付けてくれました。参加
同窓生の最高齢は九十五歳、一番若
かったのは室蘭から出席してくれた
四十三歳。函館市の前教育長で法人
理事をお願いしております橋田恭一
様の納杯のご発声で終了となりました。

本校は大正十三年、大妻コタカ先
生より大妻の二文字を冠した全国唯
一の分校として創立の承認を受け、
宝来町の片隅に「函館大妻技藝学校」
という小さな裁縫学校を設立したこ
とに始まります。この時、ハツ校長
先生は三十一歳。それから百年経ち、
同窓生やPTA、学園ゆかりの方々
のご臨席をたまわり、盛大に百周年
の記念式典を挙行できましたことに、
改めて衷心より感謝申し上げます。
に代えさせていただきます。

母校創立百周年
記念式典・祝賀会に参加して

東京支部



東京支部長
杉本 幸子
S33年卒業

令和五年十月五日、母校創立百周年記念式典・祝賀会に、身の引きしまる思いで出席させていただきました。

大妻らしい式典で、百年の歴史をスライドで振り返り、伝統の着物ショーに起源を持つファッションショーなど、創立者の想いが走馬灯のようによみがえり、『大妻精神、エネルギー、ここにあり』を強く感じることができました。急逝した第三代外山茂樹校長先生の後を引き継ぎ、「振り向いても誰もいない」とお話されていた池田延己校長先生が、教職員の皆様方と共に準備をし、心労はいかばかりだったろうかと拝察いたしました。

祝賀会では、和気あいあいの中、同窓会が一丸となり、相互の絆をより強固なものにしたのではないかと、意を強くしました。故郷から遠く離れ、それぞれの人生の過程で母校を思い、恩師を思い、そ

の思慕は深く友情をはぐくんできました。これからも灯火がますます光り輝きますように、と祈りました。

また、校内も見学させていただき、外山ハツ校長先生の胸像に手を合わせ、素晴らしい設備の充実で胸が熱くなり、母校を慕う気持ちが一層強くなりました。

母校と同窓会がますます飛躍、発展されますよう祈念いたします。

日高支部



日高支部長
岡田 代志子
S48年卒(旧姓中井)

寒い日が続いておりますが、同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

数年前からの新型コロナウイルス流行などで百周年記念式典がとて心配でしたが昨年の十月五日に開催でき安心いたしました。当日は体育館での記念式典で日本最古のピアノ演奏、開校当時の校舎などが写し出されたスライドショー、在校生製作のファッションショー、吹奏楽の演奏などがありました。同窓生一同による校歌

斉唱では学生生活の思い出がよみがえり熱いものがこみ上げてまいりました。

ホテルに会場を移しての祝賀会は、久しぶりの先輩方との再会でしたので手をとり合って喜びました。大妻コタカ記念会会長井上様、同窓会平田会長、PTA佐々木会長、前理事長西野様四名の方々のご挨拶はとても心に残るお言葉でした。改めて大妻で学ばせて頂いて本当に良かったと思えました。

私にとって思い出深い百周年記念式典と祝賀会になりました。池田校長先生始め教職員の皆様に感謝申し上げます。最後になりますが母校の益々のご発展と同窓会の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

札幌支部



札幌支部
福森 静子
S56年卒(旧姓奥)

あいにくの天気模様の中、私は札幌・函館・千葉からと、久しぶりに会えた同級生と待ち合わせ心浮き立ち会場入りました。

始まった祝賀会は大勢の皆様が、円卓を囲んだ先輩、後輩の方々

とは同窓生というだけですぐに打ち解け楽しいひとときを過ごす事ができました。

祝辞を述べられた方々の我校に対する感慨深いお話を聞きながら私も在学中の思い出が走馬灯のように思い出されました。

車椅子でも常に姿勢を正しく凛として厳しかった外山ハツ校長や、階段下の小さな部屋に集まって生徒会活動をした事、文化祭のためにいくつもいくつも和紙の小筆筒を作った事など、その後の自分の人生にとって励みになる事が沢山あったと実感しました。

女性の社会的、経済的「自立」を目指す教育はしっかりと受け継がれ、現在の介護社会を見抜き設立された福祉科はこれからも必要とされる人材を沢山産む事になる事と思えます。

皆様のご尽力に感謝申し上げますと共に、母校の益々の発展を確信致しました。

支部総会のご案内

●東京支部

日時 令和6年7月20日(土)
正午12時～
場所 プラザホテル
京王会費 10,000円
連絡先 杉本幸子(S33年卒業)
TEL03-3875-0902

周年 祝賀会

令和5年10月5日(木) 於 函館国際ホテル



大妻女子大学 井上同窓会長



寄付金目録贈呈



西野前理事長



東京支部の皆さん



「懐かしいです」
久保先生と中村先生



札幌支部の皆さん



北出先生と日高支部長

今から百年前、「女性に学問はいらない」という風潮が強い中、「女性にこそ自立して社会に貢献するための教育が必要だ」という高い志で、「函館大妻技芸学校」を創立された外山ハツ初代校長先生、以来、その意思を受け継ぎ、女子教育一筋に百年の歴史と伝統を紡ぎながら発展してきた母校の姿は、私たち同窓生の誇りであり、テレビや新聞などで在校生の活躍を目にする度に、その姿から生きるエネルギーをいただいております。そして、その後ろで生徒に寄り添い、時に優しく時に厳しく、根気強く指

導かれたことに感謝し、厚くお礼申し上げます。ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆さま、忙しい校務の傍ら今日の日のために準備をされたきた池田校長先生はじめ教職員の皆さま、そして母校の御慶事をお祝いしたいという熱い思いで遠くから駆けつけてくださった同窓生の皆さまと共に、一堂に会して百周年のお祝いをする事ができ本当に晴れやかな喜ばしい気持ちでいっぱいでございます。

母校の歴史に新たな一ページを刻む百年という大きな節目を迎えることができましたのは、ひとえに、外山ハツ初代校長先生はじめ、歴代校長先生の旗のもと、より良い教育を目指して切磋琢磨をしながら支えてこられた教職員の皆さまのご努力の賜物と敬意を表しますと共に、母校の教育活動に対し温かな心でご支援ご協力くださいました、地域・保護者・同窓生の皆さまのご尽力に他ならないと深く感謝し厚くお礼申し上げます。

「祝辞」 同窓会会長 平田優子

函館大妻高等学校創立百周年、誠におめでとうございます。同窓生を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。

母校創立 100



本部同窓生と教職員の皆さん



導されてきた先生方の姿を思い浮かべ母校に思いを馳せて参りました。母校の校訓である「恥を知れ」の言葉は、その後の人生において、人として生きていくための礎、指針となり、建学の精神「良妻賢母」の言葉からは、相手を思いやり、気配り・心配りをして社会に貢献できる人になりなさいと教えていただきました。

私事ではございますが、私が大妻高校に入学したのは、「女の子だったら大妻に通わせたい」という、亡き母のたつての願いがあつたからです。公立高校も合格しておりましたので私の気持ちはそちらに向いておりましたが母の強い思いを受け入れ大妻高校に入学いたしました。

卒業してから四十年あまりが過ぎ、歳を重ねるにつれ、母校で学んだ三年間が一生の財産になっていることを日々実感しておりますので、母校に巡り合わせてくれた亡き母には、心から感謝しながら今も同窓会に携わらせていただいております。

めまぐるしく変わる社会情勢と共に、私学にとつて非常に厳しい少子化の時代が続いていきます。その中で、母校を次の百年に繋げていくために、地域や母校ゆかりの皆さまのお力添えを賜りながら、教職員の皆さまが一丸となつて、この難局に立ち向かい乗り越えていかれますことを切に願っております。

私たち同窓会も母校の一助となりますよう、PTAの皆さまと力を合わせてできる限りの努力をする所存でございます。

結びに、ご臨席の皆さまの益々のご健勝と、母校が輝かしい歴史と伝統を継承しつつ明日からの未来に向かってさらなる飛躍と発展をされますことをご祈念申しあげお祝いの言葉とさせていただきます。

「手づくり会」 解散のお知らせ

多くの同窓生の皆様と長きに亘り活動して参りました「手づくり会」ですが、会員のご逝去や高齢化による会員数の減少もあり、母校創立百周年の節目を機に本年度をもちまして解散する運びとなりました。

これまで、親睦会等にて手作り作品を販売して参りました。たくさんの方々が同様に購入していただいた皆様にも深く感謝申し上げます。

なお、手作り作品販売利益積立金は同窓会積立金へ移行し母校への百周年記念の寄付金の一部として使わせていただきましたので、ご報告いたします。

また、手作りも継続しつつ、針仕事の苦手な方でも気軽に参加できる新しい会を立ち上げたいと考えておりますので、引き続きご協力の程よろしく願います。

母校創立百周年記念事業寄付金ご芳名一覽

(敬称略・五十音順)

百周年に向けてご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

寄付 二〇二二年四月一日から二〇二四年三月三十一日まで

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 赤川 洋子 | 太田 良子 | 齊藤 弘子 | 多田 成子 | 濱野セイ子 | 三井 幸子 |
| 秋田 菜摘 | 小笠原稔子 | 阪 能富子 | 館 恵子 | 林 東美 | 宮崎 将江 |
| 明戸李里香 | 岡田代志子 | 佐々木三枝子 | 谷口 幸 | 播磨 正子 | 宮嶋 和子 |
| 阿部 幸子 | 岡部 レイ | 笹森 美絵 | 谷藤 楓華 | 平田 優子 | 宮本 和子 |
| 阿部 範子 | 奥谷真樹子 | 佐藤 栄子 | 谷藤みさこ | 廣井 瑞歩 | 最上 テル |
| 荒木 伴子 | 押田 博子 | 佐藤千枝子 | 田原 玉 | 廣沢 律子 | 本山ちか子 |
| 荒木ヨリ子 | 尾山久美子 | 佐藤とも子 | 津志田まどか | 福士 和子 | 森 真知子 |
| 荒谷 久美 | 加賀谷美江子 | 佐藤七七子 | 土谷 敏子 | 福寿 久恵 | 森 真由美 |
| 安藤エツ子 | 加藤 亮子 | 澤田美美子 | 筒井 玲子 | 藤本美智子 | 盛田 良子 |
| 安藤 和子 | 神谷 菊枝 | 塩川みつえ | 釣谷千鶴子 | 朴田 夏生 | 柳谷 智子 |
| 飯島 玲子 | 上山 幸子 | 宍戸富美子 | 手代森捺音子 | 本間 節子 | 山内セイ子 |
| 五十嵐憲子 | 亀井 晴江 | 柴田美枝子 | 土居 祥江 | 前田 久子 | 山加 キエ |
| 池田 靖子 | 川口 和子 | 菅原富久子 | 巴 正子 | 松田たる子 | 山口 園子 |
| 石栗美津子 | 川原 ヒサ | 杉本 幸子 | 豊田 悦子 | 松田美智子 | 山口 靖子 |
| 市川 紀子 | 神田千鶴子 | 鈴木 律子 | 中内ツヤ子 | 松平 幸子 | 山下 民子 |
| 岩崎 典子 | 菊地 洋子 | 砂田 暁 | 中庭 幸子 | 松永真由美 | 山本 順子 |
| 越後谷 涼 | 工藤 典子 | 関口 信子 | 永幡フミエ | 松本 洋子 | 矢本 直子 |
| 蛭子 夏純 | 小坂ユリ子 | 相馬 秀子 | 長浜真由美 | 松吉 和子 | 吉田 敦子 |
| 海老原久美子 | 小坂 麗子 | 関馬 信子 | 中村 洋子 | 馬村久美子 | 吉田 富子 |
| 蛭谷 夢羅 | 後藤 幸子 | 高田 明乃 | 奈良 有紗 | 丸山 愛子 | 四ツ柳光子 |
| 遠藤ハツミ | 後藤美代子 | 高森 美聖 | 西川アサ子 | 三浦久美子 | 米内沢真衣 |
| 大木キヨミ | 小林 良子 | 瀧川 侑菜 | 西村 仁子 | 三澤 洋子 | 米澤 英子 |
| 大坂 克子 | 小松ヒロ子 | 竹中 恵子 | 布目 佳鈴 | 水澤 慶子 | 脇本テイ子 |
| 大田 幸美 | 齊藤 恵子 | 竹谷 礼子 | 浜島 依織 | 水谷 成子 | 以上 |

会報「いとぐるま」の郵送には、皆様からの年会費が必要です

これまでも同窓生の皆様には、多大なご協力をいただいておりますが、残念な事に、年々、「年会費」の振込が減少してきております。「いとぐるま」がお手元に届きましたら、忘れずに年会費のお振込をお願い申し上げます。平成26年度より、以下の方のみに「いとぐるま」を郵送しております。

- 年会費、寄付金を送金してくださった方
- 総会・親睦会に出席してくださった方
- 同窓会にご協力くださった方
- 新入会員で母校卒業後10年以内の方

「函館大妻高等学校」のホームページの一番下の「いとぐるま」(バナー)をクリックすると本年度だけではなく、歴代のいとぐるまも閲覧できますので、是非ご覧ください。

今後ともご支援ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hakodate-otsuma.ed.jp>

トピックス

福祉科

今年度の施設実習も、感染症対策として距離の確保やマスクの装着といった制約がありました。生徒たちは自発的に考え行動し、真剣に取り組む姿が見られました。

実習体験報告会は、全学年が揃って同じ教室で行うことで、他学年が実習で学んだ内容を互いに学び合い、新たな知識の吸収や多角的な視点を獲得の機会となりました。

なお報告会では昨年度までの観覧者参加制限を一部解除とし、実際にお世話になった実習先の職員の方々においていただくことができました。

生徒たちは気持ちを新たに、次の実習に向けての準備を進めています。



実習体験報告会

家政科

令和五年十一月十八日(土)、第一回家政科学習報告会を函館市芸術ホールで行いました。

一年生は家庭科技術検定受検体験について発表しました。ダンスは二曲ずつ一・二組に分かれて披露し、こども文化コースは食育の劇(二年生)、プリン姫(三年生)を台本、配役、道具作りなど一から考えて発表しました。

ファッショニング造形コースは半年をかけた、衣装デザイン、型紙製作、生地選びなどすべてを生徒が行いました。当日、スムーズな進行に欠かせない大道具や照明など裏方も生徒が担当しました。

家政科がワンチームとなって頑張ったこの経験は、次に生かされることと思います。



学んだ成果を全力で発揮した発表会



普通科



普通科の特色は、様々な検定への取り組みです。今年度は、新たに論理言語力検定を試みしました。実施の目的は、社会に出た時に必要とされる力、「語彙力」「社会理解力」「情報分析力」を測定し、今後の自分に何が必要となるのかを考える機会にすることです。話すこと・聞くこと・読むこと・書くことは非常に大切な能力です。その能力を引き出すために、「総合的な探究の時間」の授業を利用し、検定の学習に力を注いできました。100%の合格を目指しました。

結果は七割の生徒が合格、残りの三割があと一歩のところでした。単に合格を目標にするのではなく、検定に向けた学習を通じて、卒業後にその力を生かせるように、これからも一生懸命に取り組ませたいと思います。

学び直しの授業である「大妻ベータシク」を導入し十年が経ちました。普通科の生徒の実態に合わせてきめ細やかな授業を今後も継続していきます。



検定対策授業の様子

食物健康科

令和六年二月三日(土)、食物健康科三年生が保護者の皆様へ感謝の気持ちを込めて、日本料理を振る舞いました。

今年度は在籍数が少ないながらも、「数が少ないことを言い訳にせず、素晴らしい料理を提供する」という思いを胸に試作がスタートしました。一人で複数の仕事を掛け持つ必要がありましたが、仲間と力を合わせ課題を解決していきまうまくいかなくても素直に結果を受け止め反省する。その繰り返しが信頼と連携を育み、技術と心を成長させました。

本番では保護者の皆様にその心が伝わり、生徒にとって達成感に満ち溢れた一日となりました。



感謝の気持ちを料理に込めて

ご案内

令和6年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日時 令和6年7月6日(第1土曜日)
 総会 12:00 親睦会 13:00
 会場 KKRはこだて ☎0138-57-8484
 (函館市湯川町2-8-14)
 会費 7,000円(温泉にご入浴もできます)
 申込 令和6年6月21日までに同封の振込用紙でお申込ください。

※駐車場台数(30台)に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場下さい。

※ご不明な点がございましたら、同窓会役員(副会長 広沢090-8632-0977)までお問い合わせ下さい。

※6月29日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

◎同窓会事務局
 笹森 美絵(教諭)
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電話(0138)52-1890
 FAX(0138)52-1892
 大妻高校内
 当番幹事 同窓会役員

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いいたします。

年会費集計状況

皆様のご協力ありがとうございます

令和5年度

133,000円

(令和5年12月31日現在)

令和4年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書

(令和4年4月～令和5年3月)

【収入の部】

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 1 維持費 | 844,800 | 822,400 | △ 22,400 |
| 2 入会金 | 133,000 | 129,000 | △ 4,000 |
| 3 年会費 | 200,000 | 128,000 | △ 72,000 |
| 4 福利厚生事業収益金 | 0 | 0 | 0 |
| 5 預金利息 | 5 | 5 | △ 0 |
| 6 雑収入 | 0 | 0 | 0 |
| 7 前年度繰越金 | 280,999 | 280,999 | 0 |
| 合計 | 1,458,804 | 1,360,404 | △ 98,400 |

【支出の部】

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 総会費 | 0 | 0 | 0 |
| 2 会議費 | 5,000 | 0 | △ 5,000 |
| 3 事務費 | 50,000 | 20,304 | △ 29,696 |
| 4 会報発刊 | 240,000 | 204,243 | △ 35,757 |
| 5 活動費 | 50,000 | 37,000 | △ 13,000 |
| 6 慶弔費 | 80,000 | 20,000 | △ 60,000 |
| 7 出張費 | 0 | 0 | 0 |
| 8 支部助成金 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 9 記念品 | 150,000 | 137,250 | △ 12,750 |
| 10 積立金 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 11 予備費 | 283,804 | 0 | △ 283,804 |
| 12 次年度繰越金 | 0 | 341,607 | 341,607 |
| 合計 | 1,458,804 | 1,360,404 | △ 98,400 |

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

編集委員

大田幸美
 広沢律子

平田優子
 川原ヒサ

三井幸子
 影朋希

普通科
 食物健康科

小田島亜衣蘭
 佐々木芹菜

家政科
 家政科

堀場未生
 鎌田心結

幹事

福祉科

三島 風

令和六年卒業

同窓会幹事

編集後記

四年ぶりにお会いする同窓生の皆様と一緒に、母校創立百周年をお祝いすることができ、大変うれしく思っております。楽しかった祝賀会の様子が少しでもお届けできれば幸いです。
 先日、久しぶりに学校行事の同窓会入会式に出席させていただきました。卒業以前の三年生は、キラキラしていて眩しい程でした。
 (私って、もうおばあさん!?)
 最後に、お忙しい中、ご寄稿下さいました皆さま、本当にありがとうございました。
 (大田 記)

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金してくださった同窓生の皆様には「メガネケース」を同封させていただきました。

役員一同、心を込めて手作りしたものですので、どうぞお受け取りください。